

OnlineScreenView の WOL (Wake On LAN) の仕組みについて

OnlineScreenView でご利用できる WOL (Wake On LAN) 機能についての仕組みをご紹介します。

1. 接続先 PC (リモートで電源 ON する PC) の前提条件について

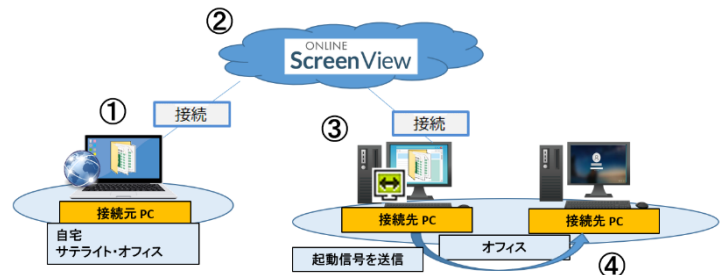
- ①接続先 PC が有線 LAN で接続されている
接続先 PC が Wi-Fi で通信している場合はご利用できません。
- ②同じネットワークに常時起動している接続先 PC がある
WOL 起動用としてサーバ機をご利用する場合も Online ScreenView のライセンスが必要です。
- ③接続先 PC が WOL の機能を提供していること
また、ルータ等の通信装置が特定の通信を許可していること

2. 通信環境の前提条件について

- ①ルータなどの通信装置で、通信ポートの許可されていること
外向きポート：TCP ポート 7615、443、80 のいずれかを許可
内向きポート：UDP ポート 2304 (WakeOnLAN 機能利用時) を許可
- ②WOL 送信先 PC (リモートで電源 ON する PC) が同じネットワークであること
ネットワークを跨っている場合、WOL はご利用できません。

3. OnlineScreenView での WOL の仕組み

- ①接続元 PC から「WOL 送信」します。
- ②インターネット上の OnlineScreenView サーバから
リモート電源で ON する信号を送信します。
- ③起動している OnlineScreenView の接続先 PC から
リモートで電源 ON する対象 PC へ信号を中継します。
- ④電源 OFF 状態の PC が起動信号を受け取り、
起動処理を開始します。



4. WOL が機能できないケース

- ①オフィスのネットワーク内の OnlineScreenView Agent をインストールしている PC が全て電源 OFF の状態
起動信号を中継する PC が電源 OFF の状態ではリモートでの電源は ON はできません。
- ②ネットワークが分かれている場合、OnlineScreenView Agent をインストールしている PC が起動していても起動信号は中継しません。

起動信号について

この信号は「Magic Packet」となります。
ネットワークの規格で、OnlineScreenView はこの規格に準拠しております。
ネットワーク内の PC が信号を受信すると電源 OFF 状態から電源 ON 状態となります。

